

## ●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



## ホームページのご案内



<http://www.molitec.co.jp/>

当社HPにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



### IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録頂いた皆様に最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。

## CONTENTS

トップメッセージ	P 1
連結財務ハイライト	P 2
部門別の概況	P 3~4
連結財務諸表	P 5~6
環境への取組み	P 7
グローバルネットワーク	P 8
会社情報	P 9
株式情報	P 10



トップメッセージ



株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当社第77期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

平成30年6月

取締役社長 永見 研二

営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、米国の政策動向や地政学的リスクの高まりもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当連結会計年度の当期売上高は294億4千万円と前連結会計年度比10.2%増加、営業利益は9億5千万円と前連結会計年度比37.2%増加、経常利益は10億9千2百万円と前連結会計年度比95.2%増加、親会社株主に帰属する当期純利益は8億5千9百万円と前連結会計年度比61.7%の増加となりました。

セグメント別の売上高、営業利益につきましては、特殊帯鋼、普通鋼等を販売しております商事部門では、売上高は169億9千7百万円と前連結会計年度比8.4%増加し、セグメント利益（営業利益）は5億5千1百万円と前連結会計年度比11.3%の減少となりました。

焼入鋼帯、鋁金加工品を製造販売しております焼入鋼帯部門、鋁金加工品部門では、焼入鋼帯部門につきましては売上高は15億8千1百万円と前連結会計年度比8.7%増加し、セグメント利益（営業利益）は2億5千1百万円と前連結会計年度比33.8%の増加となりました。鋁金加工品部門につきましては売上高は71億9百万円と前連結会計年度比6.8%増加し、セグメント利益（営業利益）は8億8千7百万円と前連結会計年度比21.3%の増加となりました。

また、海外事業につきましては、売上高は37億5千1百万円と前連結会計年度比28.4%増加し、セグメント利益（営業利益）は3億5百万円と前連結会計年度比12.5%の増加となりました。

なお、前連結会計年度において非連結子会社であったモリテックスチール（ベトナム）会社を、重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

今後当社グループが対処すべき課題

当社グループは、特殊帯鋼の専門商社及び焼入鋼帯・鋁金加工品のメーカーという、商社とモノづくりという二つの機能を持った企業として事業展開しております。その特色を活かし、価値提案企業として、特殊帯鋼の加工技術の活用提案を行うとともに、素材、プレス、熱処理技術の強みを活かしたサービスや製品を自動車、農業機械、住環境機器、医療機器分野など、広範な市場に提供してまいります。

研究開発につきましては、けいはんなR&Dセンターを研究開発拠点として、自社ブランド製品の開発のみならず、主力販売先である自動車業界のEV化の流れにも対応すべく、次世代自動車領域への開発部門を設置するなど、新たな企業価値創造に向けて、積極的な事業展開を推進してまいります。

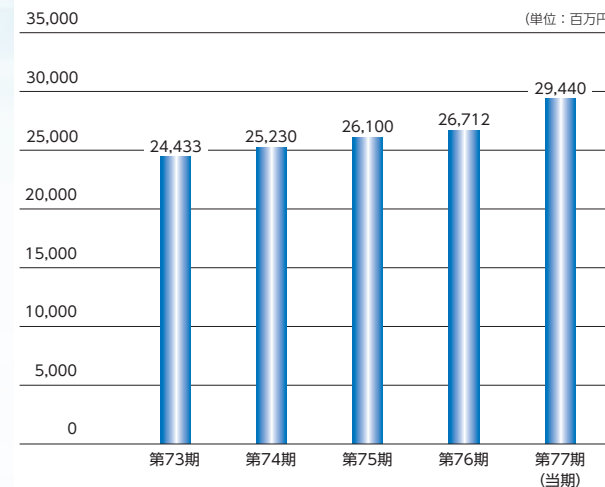
海外展開につきましては、海外市場における需要への迅速な対応と新規需要開拓推進に向け、積極的に資本を投入し、海外拠点での生産・販売の更なる体制強化によってグローバル展開を推進してまいります。

環境対策につきましては、環境保全の取組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の活動を全社をあげて推進し、環境への負荷低減に努めるとともに、地球環境にやさしい素材並びに製品のサービスと生産を行ってまいります。

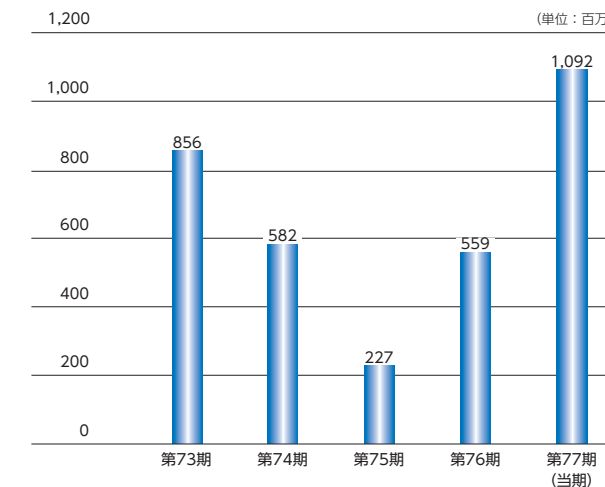
当社グループは、今後とも持続的成長と社会的責任を果たす企業として、全てのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、更なるコーポレート・ガバナンスの充実、コンプライアンス体制の強化と共に内部統制の運用により、透明性の高い経営に努めてまいります。

連結財務ハイライト

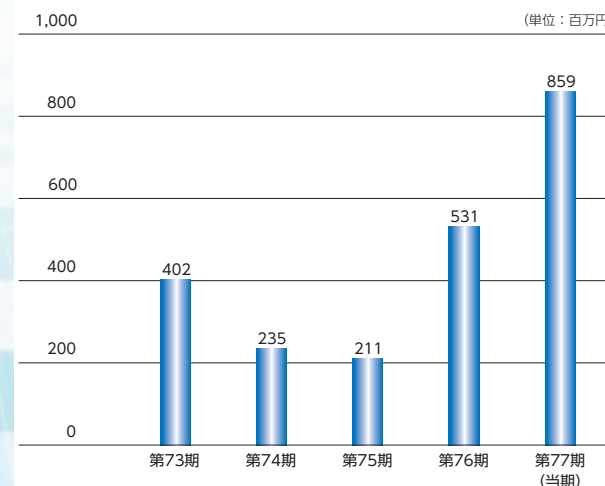
●売上高



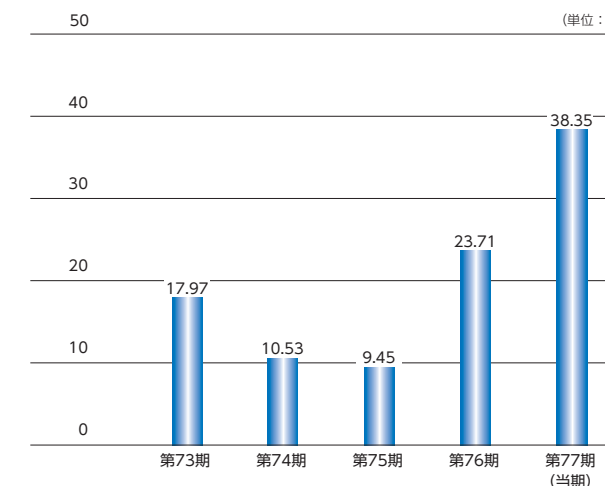
●経常利益



●親会社株主に帰属する当期純利益



●1株当たり当期純利益



部門別の概況

鈹金加工品部門

売上高 7,109百万円

取扱製品

- ・自動車用機能部品
- ・家電用精密部品
- ・農業機械用モジュール部品
- ・ゼンマイ製品
- ・コードリール
- ・金型
- ・各種アッセンブリ製品



自動車部品



CVT部品



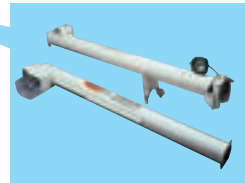
家電部品



コードリール



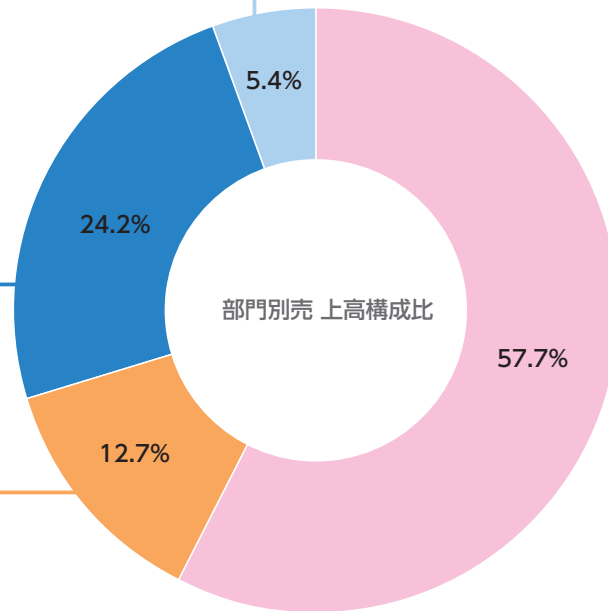
農業機械部品



オーガ

海外事業

売上高 3,751百万円



区分	売上高 (百万円)
商事部門	16,997
焼入鋼帯部門	1,581
鈹金加工品部門	7,109
海外事業	3,751
合計	29,440

焼入鋼帯部門

売上高 1,581百万円

取扱製品

- ・焼入鋼帯
- ・バーナイト鋼帯



焼入鋼帯



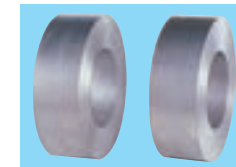
ゼンマイ (用途例)

商事部門

売上高 16,997百万円

取扱商品

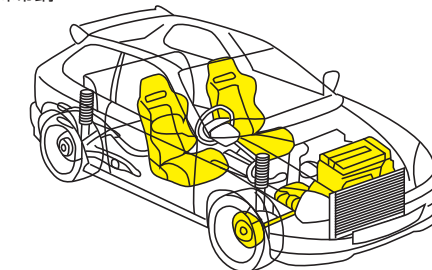
- ・みがき特殊帯鋼
- ・熱間圧延鋼帯
- ・みがき帯鋼
- ・冷間圧延鋼帯
- ・ステンレス鋼帯
- ・ばね用ステンレス鋼帯
- ・表面処理鋼板



みがき特殊帯鋼



ステンレス鋼帯

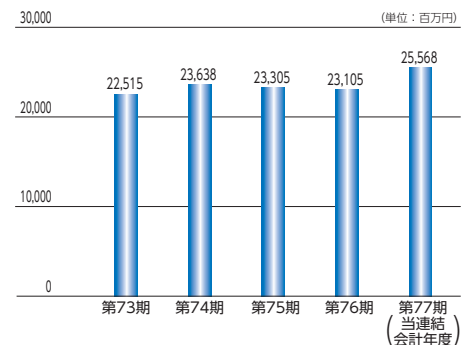


当社取扱商品は自動車部品（エンジン、ミッション、ブレーキ、シート等）をはじめ、各種機能部品に使われております。

連結財務諸表

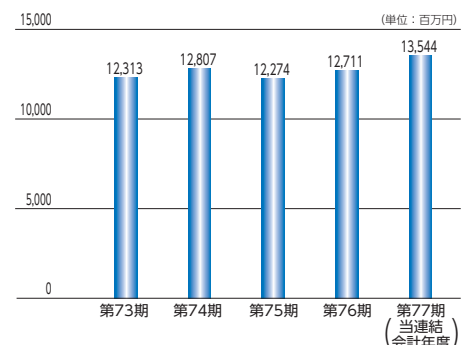
Point① 資産合計

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より24億6千3百万円増加し、255億6千8百万円となりました。



Point② 純資産合計

純資産の残高は、主に利益剰余金の増加により135億4千4百万円（前連結会計年度末比8億3千2百万円増加）となりました。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (平成29年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成30年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,955,737	17,277,901
固定資産	8,149,279	8,290,348
有形固定資産	5,463,120	5,463,626
無形固定資産	75,730	54,377
投資その他の資産	2,610,428	2,772,343
<b>Point① 資産合計</b>	<b>23,105,016</b>	<b>25,568,250</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,140,953	9,981,983
固定負債	2,252,148	2,042,262
<b>負債合計</b>	<b>10,393,102</b>	<b>12,024,245</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	11,877,173	12,512,137
資本金	1,848,846	1,848,846
資本剰余金	1,469,608	1,469,608
利益剰余金	8,599,271	9,234,422
自己株式	△ 40,552	△ 40,739
その他の包括利益累計額	775,839	958,086
その他有価証券評価差額金	632,161	745,689
繰延ヘッジ損益	—	1,322
為替換算調整勘定	156,024	212,836
退職給付に係る調整累計額	△ 12,346	△ 1,762
非支配株主持分	58,901	73,779
<b>Point② 純資産合計</b>	<b>12,711,914</b>	<b>13,544,004</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,105,016</b>	<b>25,568,250</b>

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
売上高	26,712,948	29,440,102
売上原価	22,879,481	25,235,184
売上総利益	3,833,467	4,204,918
販売費及び一般管理費	3,140,749	3,254,782
営業利益	692,717	950,136
営業外収益	91,500	172,234
営業外費用	224,637	30,306
経常利益	559,580	1,092,064
特別利益	340,445	68,992
特別損失	77,876	20,909
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>822,150</b>	<b>1,140,148</b>
法人税、住民税及び事業税	211,210	311,964
法人税等調整額	69,261	△ 40,312
当期純利益	541,678	868,496
非支配株主に帰属する 当期純利益	10,471	9,286
親会社株主に帰属する 当期純利益	531,207	859,210

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
<b>Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>864,215</b>	<b>2,586,671</b>
<b>Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>31,069</b>	<b>△ 472,264</b>
<b>Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 912,599</b>	<b>△ 830,763</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 90,802	32,097
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 108,116	1,315,741
現金及び現金同等物の期首残高	4,037,452	3,929,335
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	41,049
現金及び現金同等物の期末残高	3,929,335	5,286,126

Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を11億4千万円、非資金項目である減価償却費を6億1千6百万円計上したほか、売上債権の増加6億8千2百万円、仕入債務の増加17億4千7百万円、法人税等の支払い1億7千5百万円、たな卸資産の増加1億2千4百万円等により、25億8千6百万円の資金増加となりました。

Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出4億3千1百万円等により、4億7千2百万円の資金減少となりました。

Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出5億2千5百万円、配当金の支払い2億2千4百万円等により、8億3千万円の資金減少となりました。

環境への取組み

グローバルネットワーク

ISO14001 (環境マネジメントシステム規格) 認証取得

三重大山田工場 取得日: 2002年5月10日      ジュタワン・モリテック (タイランド) 株式会社  
 宇都宮工場 取得日: 2004年6月25日      取得日: 2007年1月16日  
 本社・営業部門 取得日: 2006年4月28日

当社グループは、海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と、新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進しております。

1 環境に対する取組みと考え方

当社グループは環境保全への取組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、あらゆる面での環境への負荷低減に努めるとともに、環境保全に配慮した製品を提供すること(設計開発、生産工程、原材料、物資の投下及び廃棄、物流等の各過程において省資源、省エネルギー、リサイクル等への配慮)、また法令順守はもとより、環境教育の強化を図ることによって持続的に発展が可能な社会の構築に貢献してまいります。

2 環境への配慮

室内物干し器  
「くるリング」 「ルームハンガー」



充電スタンド



安全・安心の業界初「無接点方式」EV/PHV用ケーブル自動巻取り式充電スタンドは、現在、お取引企業様やゴルフ場などの駐車場に設置いただいております。

3 製造部門におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減

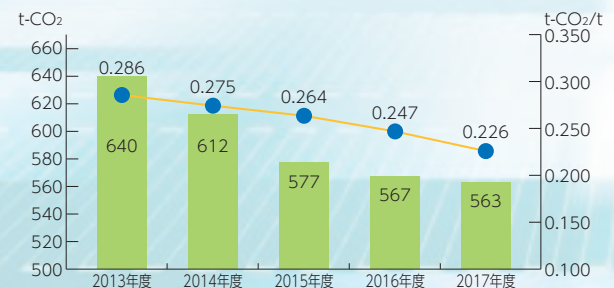
当社はCO<sub>2</sub>排出削減に取り組み、2015年度生産原単位 (t-CO<sub>2</sub>/t) 対比で毎年1%以上削減の自主目標を掲げています。

2017年度通期のCO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>) は、563 (t-CO<sub>2</sub>) となり、2016年度の排出量567 (t-CO<sub>2</sub>) に対し、0.7%の削減となりました。生産原単位は、月平均生産量が2016年度対比で8.2%増加した結果、0.226 (t-CO<sub>2</sub>/t) と2016年度対比で8.5%減となりました。

2018年度も生産効率向上に加え、三重大山田工場は太陽光発電装置を増設し、社内にて自家消費することで月当たり20.5 (t-CO<sub>2</sub>)、2017年度対比3.6%の削減を見込んでおります。

当社は資源エネルギー庁より3年連続でSクラス(省エネが優良な事業者)として評価されております。引き続き省エネルギー化に努め、CO<sub>2</sub>排出削減目標達成に向けて取り組んでまいります。

過去5年間の製造部門生産原単位とCO<sub>2</sub>排出量推移(月平均) CO<sub>2</sub>排出量(左軸) 生産原単位(右軸)



・CO<sub>2</sub>排出量については、各年度環境省公表の排出係数にて算出



会社情報

■ 会社概要

商号 モリテックスチール株式会社  
 創業 昭和18年5月  
 設立 昭和25年11月  
 資本金 18億4,884万円  
 従業員 520名(連結)

■ 役員

取締役会長 (代表取締役)	清水 正廣	監査役(常勤)	五島 吉朗
取締役社長 (代表取締役)	永見 研二	監査役(常勤)	森 剛之
専務取締役 執行役員	赤尾 正則	監査役(社外)	中田 康浩
専務取締役 執行役員	木村 慎一	監査役(社外)	藤谷 和憲
常務取締役 執行役員	松下 善紀		
常務取締役 執行役員	門 高司		
取締役 執行役員	谷口 正典		
取締役 執行役員	森 泰之		
取締役(社外)	阪口 誠		

■ 事業所所在地

◀国内▶

- 本社：大阪
- 営業拠点：大阪、東京、愛知、広島、北海道、福岡、宮城
- 工場：三重、栃木
- 開発拠点：京都



株式情報 (平成30年3月31日現在)

■ 株式の状況

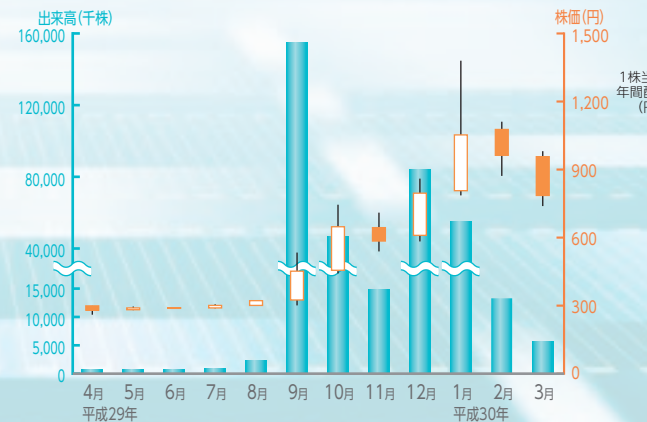
発行可能株式総数 50,000,000株  
 発行済株式の総数 22,405,684株  
 (自己株式152,379株を除く。)  
 単元株式数 100株  
 株主数 8,377名

■ 大株主の状況

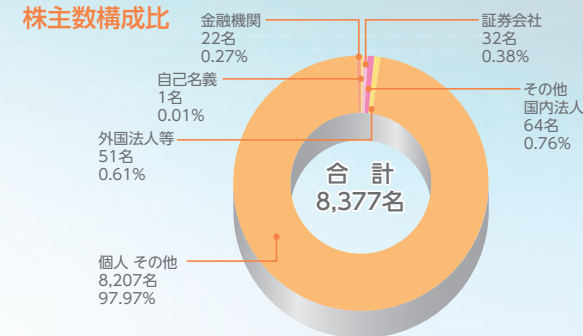
株主名	持株数 千株	持株比率 %
日新製鋼株式会社	2,244	10.02
株式会社メタルワン	1,328	5.93
日本生命保険相互会社	1,270	5.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,110	4.96
株式会社近畿大阪銀行	960	4.29
大同生命保険株式会社	600	2.68
森 文子	492	2.20
日本証券金融株式会社	471	2.11
森 浩之	466	2.08
第一生命保険株式会社	450	2.01

(注) 1.持株比率は自己株式(152,379株)を控除して計算しております。  
 2.株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日より株式会社三菱UFJ銀行に行名変更しております。

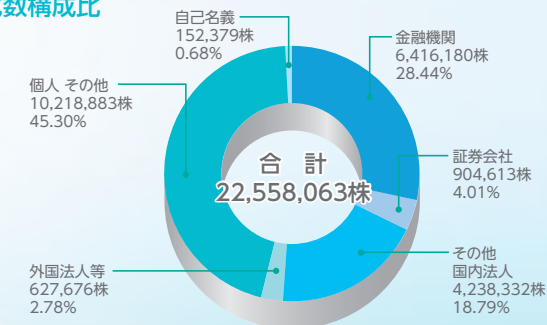
■ 株価推移表



■ 株式の状況



株式数構成比



■ 1株当たり年間配当金(円) 配当性向の推移(%)

